

クラリベイトの知財管理サービスとIPfolioの概要、および2025年知財・情報フェア出展情報

Clarivate（クラリベイト）社の知財関連サービス概要

Clarivate（クラリベイト）は、グローバルに知的財産（IP）分野のデータ、分析ソフトウェア、サービスを提供するリーディング企業です¹²。同社は特許・商標など知財の創出から権利化、活用・保護までを包括する幅広い製品群を擁し、企業の知財部門や法律事務所の業務効率化、知財戦略推進を支援しています¹³。特にIPfolioをはじめとする知財管理システムや、特許データベース「Derwent World Patents Index (DWPI)」を活用したDerwent Innovation、特許分析ツールInnography、法律事務所向けのFoundationIPなど、多彩なソリューションで知られています⁴⁵。以下では、クラリベイトの主要製品であるIPfolioの特徴と、その他の関連サービスについて詳しく解説します。

IPfolio – エンドツーエンドの知財管理システム

IPfolioはクラリベイトが提供するクラウドベースの知財管理プラットフォームで、企業の知財業務全般（特許・商標・意匠・ドメインなど）のライフサイクル管理をエンドツーエンドで支援します⁶⁷。Salesforceプラットフォーム上に構築されており、高いセキュリティと柔軟性・拡張性を備え、複雑なシステム更新作業を不要にする使いやすい設計が特徴です⁸。主要な機能・特徴は次のとおりです。

- ・**知財業務の効率化:** 発明提案の管理から出願・権利化・維持まで、ワークフローの自動化やタスク管理機能により手作業や重複作業を削減し、知財チームの生産性を最大化します⁹¹⁰。例えば、期限管理エンジンを搭載し各国法制度に対応した期限の自動計算・監視機能を提供するため、期限漏れを防止できます¹¹¹²。
- ・**実用的なインサイト提供:** 内蔵された分析機能とダッシュボードにより、自社の特許・商標ポートフォリオの状況や価値を可視化し、戦略的な意思決定を支えるインサイトを提供します⁹¹³。クリーンで一貫性のあるデータに基づくレポート作成が可能で、知財を経営資産として捉える上で有益な示唆を得ることができます¹⁴¹³。
- ・**コラボレーション機能:** 発明者、社内の他部門、外部の特許事務所など関係者とシームレスに連携できるコラボレーション機能を備えています¹⁵¹⁶。発明提案書の提出・評価や、社内承認プロセス、代理人との情報共有などを一元管理ハブ上で行えるため、コミュニケーション効率が向上します。また、ユーザごとにアクセス権限やワークフローを柔軟に設定でき、社内外から必要な情報に安全にアクセス可能です¹⁷。
- ・**他ツールとの統合とデータ連携:** IPfolioはクラリベイトが提供する他のソフトウェアやサービス、さらにはサードパーティ製ツールとも統合が可能で、Clarivateの各種データベースへの直接アクセスも備えています¹⁸¹⁹。例えば、Clarivateが誇る高品質な特許・商標データ（DWPIなど）や係争情報データ（Darts-ip判例データ）と連携し、自動データ検証・データエンリッチメント機能によって常に最新で信頼性の高いデータを維持できます¹⁹。また、後述のInnographyと連携して活用することで、企業の知財ポートフォリオ構築・分析において**単一の信頼できる情報源**を実現し、より深い洞察と迅速な意思決定を可能にしています²⁰。

- ・**導入・運用の容易さ:** クラウドサービスであるため初期導入が比較的迅速で、従来型システムのような大規模アップデートやサーバ管理の負担がありません⁸。Salesforce基盤の持つ柔軟なカスタマイズ性により、自社の業務フローに合わせた画面レイアウトや項目設定が容易に行えます⁸。さらに、標準で各種レポートテンプレートやフォーム（USPTO提出書類150種以上、システムレポート100種以上）が用意されており、アウトプットのカスタマイズも可能です²¹²²。

こうした特長から、IPfolioは「あらゆる規模の企業知財チームのためのエンドツーエンドの知財管理システム」と位置付けられており⁶、グローバルで高い評価を得ています。同製品は元々米IPfolio社のソリューションでしたが、Clarivateが2020年に買収したCPA Global社を通じてラインナップに加わり（CPA Globalが2019年にIPfolioを買収）、現在はClarivate傘下で機能強化が続けられています。日本国内でも大手企業による採用が進んでおり、**村田製作所**²³²⁴や**三菱電機**²⁵、**ダイキン工業**²⁶、**AGC株式会社**²⁷などがIPfolio導入を発表しています。これら企業では、発明提案から知財戦略策定までをIPfolio上で一元管理し、知財データの可視化による経営層への情報共有や部門間の共通言語化に成功するなど、知財業務DX（デジタルトランスフォーメーション）の成果が報告されています²³²⁴。

その他の主要な知財関連ソリューションと機能一覧

クラリベイトはIPfolio以外にも、知財管理・特許情報分野で多様なソリューションを提供しています。そのうち代表的なものを以下にまとめます。

製品・サービス名	種別・対象ユーザ	主な機能・特徴（概要）
FoundationIP	法律事務所向けIP管理システム（特許事務所向け）	世界初のクラウド型特許管理ソフトであり、 法律事務所の知財業務管理 に特化したプラットフォーム。出願・中間処理・年金管理等のワークフローを効率化し、クライアントとの情報共有も可能。 ²⁸ ²⁹ 各国特許庁の電子システムとの連携機能（USPTO Private PAIRからのワンクリック出願情報取込やメール自動ドケット登録など）を備え、150以上の公式フォームテンプレートや豊富なレポート機能によって事務所業務を標準化・自動化します ²¹ ³⁰ 。クライアントに対してポータルアクセスを提供し、自社案件の進捗やポートフォリオを直接確認させることもできるため、コミュニケーション負担を軽減します ²⁹ 。
Innography	企業・特許専門家向け特許分析ソフト	特許ランドスケープ分析や競合調査 のための強力な分析プラットフォーム。世界中の特許、公報、係争（訴訟）情報、引用関係データ等を企業単位で集約・関連付けて提供し、競争の激しい技術分野で自社および競合の特許ポートフォリオを多角的に評価するインサイトを得られます ³¹ ³² 。 自然言語処理（NLP）により大量の特許文献をトピック別に自動分類し、自社ポートフォリオの構成分析やホワイトスペースの発見を迅速化します ³³ 。直感的なビジュアルダッシュボードやグラフ表示機能を備え、クリック操作で複雑なデータセットを視覚化できるため ³⁴ 、経営陣への報告や戦略立案にも役立ちます。IPfolio等の管理システムと連携して使用することで、発明創出から特許取得・活用まで統合的にデータを活かせる点も特長です ³⁵ 。

製品・サービス名	種別・対象ユーザ	主な機能・特徴（概要）
Derwent Innovation	特許検索・調査プラットフォーム	Clarivate傘下の Derwent社 が長年培ってきた世界有数の特許データベース（ Derwent World Patents Index: DWPI ）を駆使した特許検索・解析ツールです。 新規性調査、FTO（実施可能性調査）、無効資料調査 など特許専門家の重要業務を支える高精度検索を実現します ^{36 37} 。 最大の特徴は、 強化されたグローバル特許データと人手で要約された発明のサマリー を提供している点です。DWPIでは世界各国の特許公報を単一ファミリーにまとめ、専門スタッフが発明の新規性・用途・有利性を明確に記述したタイトル・抄録を付与しています ^{38 39} 。これにより検索結果の関連性と網羅性が飛躍的に向上し、膨大なヒットを効率よく精査できます。実際、Derwentの強化特許データと抄録は 世界40以上の特許庁 でも先行技術調査に利用されている信頼性の高い情報源です ^{40 41} 。 さらに、140か国以上の特許訴訟・法的ステータス情報や、Web of Science 経由の非特許文献データまでも統合しており ^{42 43} 、真に包括的な特許調査が可能です。300以上の検索フィールドや高度なクエリ機能を備え、専門的な検索ニーズにも応えられる柔軟性があります ⁴⁴ 。これらにより「 ノイズの少ない正確な検索結果 」を得られるため、グローバル企業や特許法律事務所から高い信頼を得ています ^{45 46} 。
その他の関連サービス	（補足一覧）	Memotech／Unycom （企業向け知財管理システム。IPfolioと同様に特許・商標ポートフォリオ管理を支援するソフトウェアで、各社の規模や要件に応じ導入） ⁴⁷ 。 The IP Management System（従来「Patricia」） （企業・代理人双方で利用可能な知財管理ソリューション） ^{47 48} 。 Darts-ip （世界各国の知財判例・異議・訴訟データベース。特に商標・特許の係争情報分析に強み） ^{49 50} 。 CompuMark （商標の類否検索やクリアランス調査サービス。グローバル商標データを提供） ⁵¹ 。 TrademarkVision （画像商標・意匠の類似検索AIツール） ⁵² 。 IP関連業務支援サービス （年金管理、出願手続代行、翻訳、IDS対応、調査受託などの専門サービスも幅広く提供） ^{53 54} 。

上記のように、クラリベイトは知財管理ソフトから特許・商標データベース、分析ツール、管理業務アウトソーシングまで**ワンストップで提供できる総合力**が強みです⁴。特に「IPfolio + FoundationIP + Innography」の組み合わせにより、企業内の知財戦略策定から法律事務所での手続管理、さらに知財情報分析までシームレスに連携でき、「**完全なIPライフサイクル管理パッケージ**」を実現していると評価されています⁴。またClarivateは2023年以降、AI（人工知能）技術の実装にも注力しており、前述のInnographyのNLP機能や、**Forecast**（フォーキャスト）と呼ばれるAI駆動の知財費用予測ツールの投入など、新機能の拡充も進めています^{55 56}。Forecastは知財ポートフォリオ全体の特許・商標維持費用や出願費用を自動予測・シミュレーションできるソリューションで、IPfolioとフル統合されており、リアルタイムの予算策定やレポート作成を可能にしています^{57 58}。このように最新技術を取り入れつつ、既存の豊富な知財データ資産と組み合わせてユーザの業務課題解決に役立てる点がクラリベイト製品群の特徴と言えます。

他社ソリューションとの比較補足

知財管理・特許情報ソリューションの市場にはクラリベイト以外にも複数の主要プレイヤーが存在し、各社が競って機能強化や新サービス投入を行っています。例えば**Anaqua（アナクア）**社は米国発の知財管理ソフトウェア企業で、統合型プラットフォーム**AQX**を提供しています。AnaquaもClarivateと同様に特許・商標管理から年金、特許分析まで包括的な機能を持ち、日本市場にも進出しています。2025年9月の「知財・情報

フェア」では、Anaqua社が「**AIネイティブ知財管理プラットフォーム**」のロードマップを発表し、2026年前半に中小規模チーム向けの新製品提供を開始するとアナウンスしました⁵⁸。これは既存のAQXIにAI機能を統合するとともに、小規模向け新ソリューションを投入する動きで、生成AIや自動ドケットリング機能の強化などが図られています⁵⁹⁶⁰。またフランス発のQuestel社（Orbitシリーズ）や、知財分析プラットフォームのPatSnap、日本国内の特許情報サービス企業（特許庁系のJapioや民間のPatentfield等）も、それぞれAI活用による調査効率化機能を打ち出しています⁶¹⁶²。クラリベイトはこうした競合他社に対し、前述の**広範なデータ資産の保有**（DerwentやDarts-ipなど）と**ワークフロー全体をカバーする統合スイート**で優位性を訴求しています。実際、Clarivateの小島バイスプレジデントはインタビューで「IPfolioではアイデア創出から発明の保護・商品化までプロセスを自動化し、知財を事業戦略に組み込む示唆を得やすくしている」と述べており⁶³、包括的ソリューションによる**知財DX推進**がクラリベイトの強みであることを強調しています。

2025年「知財・情報フェア&コンファレンス」でのクラリベイト出展

2025年9月10日～12日に東京ビッグサイト西3・4ホールで開催された「2025 知財・情報フェア&コンファレンス」（国内最大級の知財関連見本市、第34回大会）において、クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社も出展企業の一つとして参加しました⁶⁴⁶⁵。このイベントには158社もの企業・団体がブース出展し、知財業務向けの最新ソリューションやサービスの展示、セミナー発表が行われました⁶⁴。

クラリベイトのブースでは、同社の**知財管理ソフトウェア群（IPfolioを含む）**や**特許検索・分析サービス（Derwent InnovationやInnography等）**が紹介され、来場者は実際にデモ操作を体験できるようになっていました（ブース小間番号は公式には未公開ですが、西ホール内に配置）⁶⁶⁶⁷。特にクラリベイトが強みとする**Salesforce基盤の知財管理システムIPfolio**や、**独自の特許データ（DWPI）**を活用した検索・分析ソリューションについて、担当者が具体的なユースケースを交えて説明を行い、知財業務のDX・効率化に関心を持つ企業担当者の注目を集めました⁶⁶⁴⁰。また、同社ブースでは2023年に提供開始した前述の**AI予算策定ツール「Forecast」**のデモンストレーションも行われ、AIによるコスト予測が知財戦略立案に与えるメリットが紹介されたとの情報があります（来場者のSNS報告より）。さらに、商標分野の新サービスとして直近リリースされた**Brand Landscape Analyzer**や**Trademark Watch Analyzer**といったAI搭載ツールについてもパネル展示があり、知財管理のみならず調査・分析まで網羅したクラリベイト製品エコシステムの広がりアピールしていました⁶⁸⁶⁹。

出展者プレゼンテーション（セミナー）への登壇

知財・情報フェア会期中には、出展各社によるプレゼンテーションセミナー（PRセミナー）が5会場・計86テーマ開催されました⁷⁰。クラリベイトもこの**出展者プレゼンテーション**に複数セッション登壇しており、その中でも注目を集めたのが「**知財管理システムIPfolioが実現するAI活用・効率化**」と題する講演です⁷¹。このセミナーはD会場で行われ、クラリベイトの知財ソリューション担当者が登壇しました⁷²⁶⁶。以下、その講演内容の概要です。

- ・**講演タイトル**：「知財管理システム IPfolio が実現する AI活用・効率化」⁷¹
- ・**講演概要**：IPfolioが**Salesforceプラットフォームを基盤**としている強みを活かし、日本を含む国内外で導入企業が着実に増えている現状を紹介。⁶⁶ 特にIPfolioのユーザーから高く評価されている**中核機能**（発明提案管理、ワークフロー自動化、レポートダッシュボード等）や、クラリベイトの他ソリューション（特許検索・分析のDerwentやInnography、費用管理ツールなど）との**シームレス統合**による業務最適化について解説がありました⁶⁶。また、最新の**AI活用アップデート**として、先述の**Forecast**による知財コスト予測機能統合や、特許データ分析へのAI技術応用（例えば出願戦略立案への示唆を与える機能）などが紹介され、知財業務へのAI活用最前線が示されました⁷³⁵⁶。講演後半では、「知財を戦略的資産として活用するためのヒントと今後の展望」というテーマで、知財情報を経営戦略に結び付けるグローバル動向や、クラリベイトが見据える将来像について触れられました⁷⁴⁷⁵。具体的には、膨大な知財データを活かして**IPランドスケープ**（事業・技術戦略への知財情報活用）を実践する重要性や、クラリベイトが提供する各種データ・ツールをワンストップで組み合

わせることで実現できる“ひとつ先の知財業務”の姿が示されています^{66 75}。講演の締めくくりとして、「ぜひ本日紹介したヒントを持ち帰り、皆様の知財業務に活用してください」といったメッセージで結ばれました⁷⁶。

この他にもクラリベイト関連の発表として、特許情報を用いた**新しい分析指標と生成AIの可能性**に関するセミナーや、知財コンテンツ活用が拓く戦略の未来像に関するセッションにもクラリベイトから講演者が参加した模様です^{77 78}。総じてクラリベイトは今回の知財フェアで、自社の豊富なコンテンツ（特許・商標データ）の強みと最新テクノロジー（AI、Salesforce連携等）を掛け合わせたソリューションが**知財部門のDXと戦略的価値創造に貢献しうる**ことを強調しており、来場者からも大きな関心を集めていました。

新サービス・製品発表の有無

2025年知財・情報フェアにおいて、クラリベイトが**全く新しい製品やサービスを公式発表した**との情報は現時点では確認されていません。上述の通りクラリベイトは既存製品（IPfolio等）の最新機能やAI統合の紹介にフォーカスしており、新製品リリースは行っていませんでした。一方で、競合のAnaqua社が日本市場向けの**新AIプラットフォーム提供開始**を打ち出すなど⁵⁸、各社がこの場を利用して新技術アピールを行っている様子がうかがえます。クラリベイトとしては、前年から展開しているForecastやTrademarkVision関連サービスなど既存ラインナップの訴求に注力し、**統合ソリューションとしての完成度**を強調する戦略を採ったと言えるでしょう。また、ブース来訪者との対話を通じて市場ニーズを収集し、今後の製品ロードマップ（例えば生成AIのさらなる活用や日本企業ニーズへの対応等）に反映していく姿勢もうかがえました。

以上、Clarivate社の知財関連サービス（中心製品IPfolioおよびFoundationIP・Innography・Derwent等）についての詳細と、2025年知財・情報フェアでのクラリベイト出展内容をまとめました。クラリベイトは豊富なデータ資源と先進的なプラットフォームを組み合わせ、知財管理の効率化と戦略高度化を実現するサービスを提供しています⁴。2025年の知財フェアでは、それらの価値提案を日本のユーザーに直接訴求するとともに、他社との差別化要因である**データの質と統合力**を改めて印象付けた形です。知財・情報管理の分野では今後も各社から新しいAIソリューションが登場することが予想されますが、その中でクラリベイトが持つ包括的アプローチと実績は、大企業から中小企業まで幅広い知財ユーザーにとって引き続き有力な選択肢となるでしょう。^{4 56}

1 2 3 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 23 24 27 47 52 日本語対応のグローバル知財管理システム IPfolio | クラリベイト

<https://clarivate.com/intellectual-property/ja/ip-management-software/ipfolio/>

4 IPFolio Competitors and Alternatives: Choosing the Best Patent Management Software for Medium-Sized Enterprises - Triangle IP

<https://triangleip.com/ipfolio-competitors-and-alternatives-choosing-the-best-patent-management-software-for-medium-sized-enterprises/>

21 22 28 29 30 48 FoundationIP Law Firms IP Lifecycle Management | Clarivate

<https://clarivate.com/intellectual-property/ja/ip-management-software/foundationip/>

25 三菱電機株式会社、知的財産管理にクラリベイトのIPfolioを採用

<https://kyodonewsprwire.jp/release/202305316033>

26 ダイキン工業、知財管理システム「IPfolio」で業務効率化

<https://casehub.news/category/news/ipfolio.html>

31 32 33 34 35 Innography | Clarivate

<https://clarivate.com/intellectual-property/ja/patent-intelligence/innography/>

36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 Derwent Innovation 特許検索ソフトウェア | クラリベイト

<https://clarivate.com/intellectual-property/ja/patent-intelligence/derwent-innovation/>

49 50 51 53 54 IP Patent & Trademark Management Software | Clarivate

<https://clarivate.com/intellectual-property/ip-management-software/>

55 56 57 68 69 Clarivate Launches AI-Powered Tool to Simplify IP Budgets and Forecasts

<https://www.prnewswire.com/news-releases/clarivate-launches-ai-powered-tool-to-simplify-ip-budgets-and-forecasts-301932415.html>

58 59 60 62 アナクアが2025年知財・情報フェア＆コンファレンスで日本の知財市場向けAIソリューションのロードマップを発表 - アナクア知財管理ソフトウェア＆サービス

<https://www.anaqua.com/ja/resource/anaqua-unveils-ai-solutions-roadmap-for-japans-ip-market-at-the-2025-intellectual-property-information-fair-conference/>

61 2025知財・情報フェア＆コンファレンス（PIFC） - Elevate Law

<https://elevate.law/events/2025-pifc-jp/>

63 特許数国内トップ企業が取り組む「知財DX」とは 効率的な管理・保護と ...

<https://toyokeizai.net/articles/-/688623>

64 65 70 2025 知財・情報フェア＆コンファレンス |

<https://pifc.jp/2025/>

66 71 72 73 74 75 76 77 78 出展者プレゼンテーション 知財・情報フェア＆コンファレンス2025

https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/08/pifc2025presen_v4.pdf

67 [INPIT] 2025 知財・情報フェア＆コンファレンスへの出展について | 独立行政法人 工業所有権情報・研修館

https://www.inpit.go.jp/about/topic/info_20250821.html